

報道関係各位

2019年9月12日

「窯のある広場・資料館」リニューアル記念

INAXライブミュージアム企画展

大「名品」展—タイル・テラコッタ・古便器・土管のコレクション

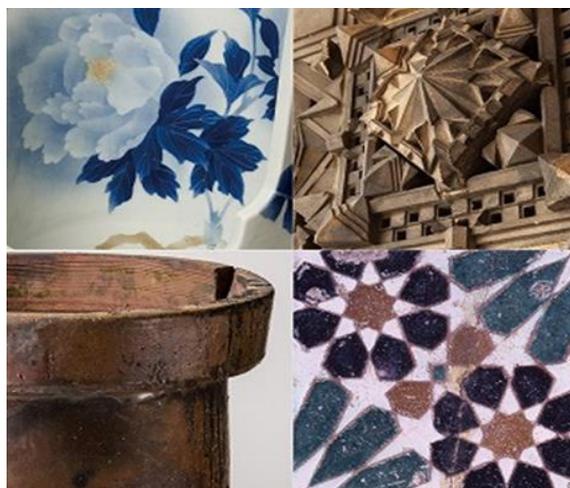
Objet d'art collection: tiles, architectural terracotta, and assorted ceramic wares

【会期】2019年10月5日(土)～2020年3月31日(火)

【会場】INAXライブミュージアム「土・どろんこ館」「世界のタイル博物館」企画展示室を中心に館敷地内



株式会社 LIXIL が運営する、土とやきものの魅力を伝える文化施設「INAX ライブミュージアム」(所在地：愛知県常滑市)では、2019年10月5日(土)から2020年3月31日(火)まで、企画展「大『名品』展—タイル・テラコッタ・古便器・土管のコレクション」を開催します。



INAX ライブミュージアムのコレクション\*は、「窯のある広場・資料館」からはじまりました。

高い煙突と、大きな窯を内部に抱く黒壁の土管工場は、常滑のやきものの歴史を物語るシンボルの一つです。「後世に残したい」との思いから、改修し、整備して1986年から一般に公開しています。これが私たちのコレクション第一号となりました。以来、世界の装飾タイルや、建築陶器・テラコッタ\*\*、古便器、土管など、人の暮らしを彩り、あるいは日本の近代的な生活を支えてきたやきものが集まり、膨大なコレクションを築いています。

近代窯業の歴史を象徴する文化財である「窯のある広場・資料館」が3年に及ぶ保全工事を経てリニューアルオープンすることを機に、これまで展示する機会が少なかった貴重な「名品」を収蔵庫から出し、常設展示品とともに展覧します。

その多くは美術史には登場しないものですが、いずれも人の暮らしを豊かにしてきたものであり、そこには真摯なものづくりの心や、住空間を彩る気持ちが凝縮した「美」が宿っています。

INAX ライブミュージアムの稀有なコレクションを一堂にご覧いただくまたとない機会となります。数々のコレクションから垣間見える人々の暮らしや、工夫を凝らしたものづくりの心に思いを馳せながら、力強くも繊細なやきものの魅力をご堪能ください。

\*タイル：山本正之コレクション（常滑市所蔵）、古便器：千羽他何之コレクションを母体としている。

\*\*大正から昭和初期に建物の外壁を飾った陶器製の建築装飾材。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社LIXIL（<https://www.lixil.co.jp/>）

本社：東京都千代田区霞が関3-2-5霞が関ビルディング36階

報道関係の方から：INAXライブミュージアム 担当 立花・竹内 TEL：0569-36-0206

※このリリースは、LIXIL ホームページ（URL：<https://www.lixil.co.jp/>）でも発表しています。

※報道関係者の方々にご取材いただきたく、ご検討をお願いします。ご取材いただける場合は、担当者までご連絡ください。

## <参考資料>

### 開催概要

#### 企画展「大『名品』展—タイル・テラコッタ・古便器・土管のコレクション」

Objet d'art collection: tiles, architectural terracotta, and assorted ceramic wares

【会期】2019年10月5日(土)～2020年3月31日(火)

【会場】INAX ライブミュージアム「土・どろんこ館」「世界のタイル博物館」企画展示室を中心に館敷地内

〒479-8586 愛知県常滑市奥栄町 1-130 TEL: 0569 - 34 - 8282 FAX: 0569 - 34 - 8283

【休館日】水曜日(祝日の場合は開館)、2019年12月25日(水)～2020年1月3日(金)

【観覧料】共通入館料にて観覧可(一般:700円、高・大学生:500円、小・中学生:250円)

【主催】INAX ライブミュージアム企画委員会

【企画アドバイザー】竹多格(タイル研究家)

【展示デザイン&会場グラフィック】中原崇志、早川大祐、永田耕平、丸古実 [DENBAK-FANO-DESIGN]

### ■展示構成と見どころ

当館では、世界の装飾タイルやテラコッタ、土管などのコレクションを、歴史的背景とともに常設展示してきました。いずれも代表作ではありますが、大型であったり、材質的に長期展示が難しかったり、珍品だが歴史的に支流であったりして、普段お見せする機会の少ない資料を本展では「名品」として多様な視点で選び出し、当館初公開作品を含め約120点を常設展示に加えてご覧いただけます。

二つの企画展示室に加え、常設展示室のスペースを利用して展示し、観覧者はマップを片手に敷地内を散策しながら「名品」を展覧いただけます。

#### 1. 敷瓦が描かれた屏風絵とその流れを汲む日本の敷瓦

「敷瓦のある屏風絵『帝鑑図屏風』江戸時代初期(1615年頃)

当館での展示は19年ぶり。会期の前半・後半に分け、1隻ずつ入替展示する。

右隻「四皓来朝(しこうらいちょう)《～12月24日まで》

左隻「善12丹書受戒」《2020年1月4日～3月31日まで》



#### 2. 戦時中、ロケット兵器の燃料製造器に使われた耐酸珪器(たいさんせっき)製の部品。品質の良い原料と高度な技術が必要だった。

- ・耐酸珪器呂号\*(ろごう)兵器燃料製造器具
- ・耐酸珪器製U字管
- ・耐酸珪器製ブロックコック
- ・耐酸珪器製曲コック(大)

\*ロケットの口から取った暗号。



耐酸珪器製U字管<<初>>



耐酸珪器製曲コック(大)<<初>>

#### 3. 陶芸家が美術作品のように建築用の装飾品を制作し、著名建築家が好んで使用した味わいのあるタイルやテラコッタ

山茶窯(つばきがま)製陶所/小森忍

- ・エザキ旧本社[旧同信会館(獅子・象)]
- ・岩崎男爵熱海別邸タイル
- ・阪急百貨店食堂の網代柄施釉タイル



岩崎男爵熱海別邸タイル



エザキ旧本社[旧同信会館(獅子)]<<初>>

泰山製陶所／池田泰山

- ・赤坂プリンスホテル、旧李王家の床タイル
- ・緑釉レリーフタイル



赤坂プリンスホテル、旧李王家の床タイル



緑釉レリーフタイル

#### 4. 著名作家によるやきもの

- ・オーストリアの芸術家・画家・建築家であるフリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサー（1928-2000年）による陶柱
- ・日本陶彫の父・沼田一雅（1873-1954年）による狛犬
- ・グラフィックデザイナー 栗津潔（あわづ きよし 1929-2009年）による『海亀』の陶製オブジェ
- ・戦後日本を代表する陶磁器デザイナー 日根野作三（ひのね さくぞう 1907-1984年）の作品を伊奈製陶がパッケージ発売したモザイクタイル壁画『牛』



フンデルトヴァッサーによる陶柱<初>

#### ■関連イベント

講演会&館内ツアー

講師：森由美 [陶磁研究家]

開催日：2019年11月23日（土・祝）

◎講演会 「私が選ぶ、INAX ライブミュージアムの『名品』」 会場／「世界のタイル博物館」 定員／申込先着 60名 聴講費／当日の共通入館券が必要	◎館内ツアー 森由美さんと一緒に展示会場を巡ります。 Part1: 「土・どろんこ館」の展示 3:30pm~3:50pm Part2: 「世界のタイル博物館」の展示 4:10pm~4:30pm 定員／お一人様いずれかのご参加で、各回申込先着 15名。 聴講費／当日の共通入館券が必要
--	--

※申込み方法など詳細はホームページをご確認ください。

#### 《講演会の内容》

染付の大皿や鉢を見続けた専門家は、染付タイルや染付古便器のどこを見るか。見方、そして「名品」と判断するポイント、さらには膨大なコレクションを前に自分なりの楽しみ方をお話しいたします。

もり・ゆみ 東京生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科修了（保存科学専攻）。

戸栗美術館学芸員、日本陶磁協会を経て、独立し執筆、講演、企画制作、テレビ番組「なんでも鑑定団」出演などで陶磁器や伝統文化の分野で多岐にわたり活躍。著書に『古伊万里 IMARI ジャパノロジー・コレクション』（角川ソフィア文庫）、『古伊万里 蕎麦猪口・酒器 1000』（講談社）ほか。

#### ■関連書籍

「INAX ライブミュージアム コレクション選集—タイル・テラコッタ・古便器・土管」

2019年10月5日発刊

天地：天地：152mm×左右：152mm／本文 180 ページ（予定）、無線綴じ

定価：1,800 円（税別）発行：LIXIL 出版

編集制作：坂井編集企画事務所

#### 【図版構成】

INAXライブミュージアムが開館以前からコレクションしてきた、世界のタイル、建築装飾材・テラコッタ、古便器、土管などの資料のうち、代表作を集めた一冊。このコレクションは、紀元前27世紀のタイルから、日本の近代化や人びとの暮らしを支えてきたやきもので構成され、名品や歴史的な遺品、そして珍品を含む、稀有なものです。真摯なものづくりの心や暮らしを彩る気持ちが凝縮した、「美」が宿るやきものをコンパクトに俯瞰できる一冊です。

## ■INAXライブミュージアム概要

『INAX ライブミュージアム』

所在地：愛知県常滑市奥栄町 1-130

TEL：0569-34-8282

休館日：水曜日（祝日の場合は開館）、年末年始

共通入館料：一般：700円、高・大学生：500円、小・中学生：250円

※2019年10月5日より料金改定。

ホームページ：<https://www.livingculture.lixil/film/>

LIXIL文化活動 Facebook：<https://www.facebook.com/LIXIL.culture>

やきもの製品のテクノロジー拠点、愛知県常滑市にLIXILが開設する文化施設。「世界のタイル博物館」「窯のある広場・資料館」「建築陶器のはじまり館」「土・どろんこ館」「陶楽工房」「ものづくり工房」の6館から成る“体験・体感型ミュージアム”。

土からやきものまで、その歴史や文化、美しさや楽しさを伝えています。土と陶の魅力に触れる体験教室や企画展、ワークショップも開催。



INAXライブミュージアム  
「窯のある広場・資料館」(左)と  
「世界のタイル博物館」(右)



LIXILは、創業期のクラフトマンシップを今に語り継ぎ、常に建築家やデザイナーと手を携え、機能性と洗練された美しさの融合を追求してきました。それこそが、私たちが掲げる「LIVING CULTURE」というコンセプトです。私たちはミュージアム、ギャラリー、資料館および出版活動を柱とした文化活動を通して、ものづくりの技と心を次世代に伝え、斬新なアイデアを発信する場を提供し、LIVING CULTUREを表現していきます。LIXILは、ものづくりにこだわり、ライフスタイルや時代に合った美しく機能的な製品を作り続けることで世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。

## ■LIXILについて

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在70,000人超の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。

LIXILなどのブランドを展開する、株式会社LIXILグループ（証券コード：5938）は、2019年3月期に1兆8,326億円の連結売上高を計上しています。

LIXILについて：<https://www.lixil.com/jp/>、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>